

新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室2019
(会場:新国立劇場)

ジャコモ・プッチーニ
「蝶々夫人」

【全2幕<イタリア語上演/字幕付>】

2019年7月6日(土) 8日(月) 9日(火) 10日(水) 11日(木) 12日(金)
全6回公演 全日13:00開演 新国立劇場オペラパレス

全席指定 高校生 2,160円(要学生証) 前売開始:2019年6月16日(日)
※残席がある場合に限り、当日券として4,320円で一般(大人)の方も購入可(高校生以下2,160円)。

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室で
本物の感動を体験する。

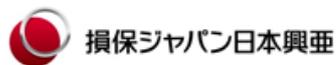
高校生の心に感動を伝え続ける新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室。1998年より毎年開催され、今年で22年目を迎えます。これまでに『蝶々夫人』『トスカ』『カルメン』『カヴァレリア・ルスティカーナ』『椿姫』『ラ・ボエーム』『愛の妙薬』『夕鶴』『フィガロの結婚』『魔笛』と、オペラの名作10演目を上演、高校生及び学校関係者に好評を得てきました。来場する高校生は毎年約1万2千人、これまでに20万人を超える高校生が参加しています。来場者の約8割がオペラ鑑賞初体験という高校生たちですが、幕が開くとざわついた劇場内はたちまち静まり返り、ドラマティックなストーリー展開と歌手やオーケストラの生演奏に引き込まれていきます。

今年の演目の『蝶々夫人』は、数あるオペラの中でも群を抜いて人気の高い作品です。演出は、日本を代表する演出家のひとり栗山民也。美しく簡潔な舞台ながら強いメッセージを感じさせる演出で、新国立劇場のレパートリーの中でも屈指の人気を誇ります。

日本を代表するオペラ歌手、オーケストラが出演する本格的な舞台を、各方面からのご支援により破格の料金でご覧いただく貴重な機会です。一般の皆様への周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

助成: 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

協賛: ローム株式会社



<写真、資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場制作部 オペラ広報 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/

e-mail:takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室

「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及をめざす新国立劇場が、次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供する機会として1998年(平成10年)より毎年開催しています。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じプロダクションを上演。日本を代表するオペラ歌手が出演し、生のオーケストラ演奏で上演しています。高校生を学生扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変好評をいただいております。平成20年度より関西公演が開始され、毎年東京公演、関西公演あわせて約1万2千人の高校生が「本物の芸術」であるこの公演を体験しています。

今年度の東京公演は、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成、協賛としてローム株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社のご支援のもと、プッチーニのオペラ『蝶々夫人』を上演します。

東京公演に引き続き関西での公演は、京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、新国立劇場の主催、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成、ローム株式会社の協賛により、2019年10月28日(月)・30日(水)にロームシアター京都で開催されます。

■平成29年度鑑賞教室『蝶々夫人』アンケートより

『蝶々夫人』を上演した平成29年度のアンケート結果によると、オペラ鑑賞初体験の高校生は全体の約8割(79.8%)を占めました。約9割(87.2%)の高校生が鑑賞後に「とても良かった/面白かった」「良かった」と答えました。また、オペラをまた見たいかという質問にも、約9割(92%)の高校生が「自分でチケットを買って見たい」「学校やグループで行く機会があればまた見たい」と回答しました。参加する学校も年々増え、毎年首都圏の約50校が参加しています。

(高校生のコメント)

- ◆すごい迫力で圧倒されました。音量やオーケストラまで全てがすごくておどろいた。歌で言葉はわからなくても表現されていてわかりやすいし心に響いた。(3年生/女子)
- ◆アメリカ国旗の方を向いて自分を刺す夫人のピンカートンへの愛のはかなさに感動と、誇りを覚えた。ずっと白い服だったのに、アメリカに行ったピンカートンが黒で帰ってきた時、もう2人がくっつくことはないことに切なくなった。(2年生/女子)
- ◆オペラは初めて見たので、日常会話風なセリフでも、音楽に合わせて発せられていることに驚きました。歌、オーケストラ、舞台装置の全てが細かい所まで話を再現していて、見入ってしまいました。貴重な機会を、ありがとうございます。(2年生/男子)
- ◆演技も音楽も舞台装置も全てが素晴らしかったです。鳥肌が立つほど圧倒されました。(1年生/女子)
- ◆映画では味わえない、出演者・演奏者・観客の一体感を感じることができて良かったです。素晴らしい公演をありがとうございました。(1年生/女子)
- ◆先生から、音楽がすごいと言われていたが、本当にビデオと生で見るのが全く別物でとても感動した。(2年生/男子)
- ◆声の響きに魅了された。オーケストラも、ストーリーにあわせた迫力のある演奏だった。別のオペラも見に行きたい。(2年生/男子)
- ◆感情と共に高なる音楽といえ、ほんとうに最高でした。私も蝶々夫人の世界に入り込んでしまい、涙が出てしまうほどでした。音楽の力ってすごい!!!(1年生/女子)

■『蝶々夫人』 あらすじ



【第1幕】明治時代の長崎。日本滞在中、現地妻を娶ろうというアメリカ海軍士官ピンカートンは、仲介人ゴローに新居を案内され、使用人を紹介される。結婚も家もいつでも契約破棄できると豪語するピンカートン。アメリカ総領事シャープレスは、ピンカートンの軽薄さを心配する。花嫁行列がやってきて、美しい花嫁、蝶々さんが現れる。「私は世界一幸せ」と嬉しそうに語る蝶々さんは15歳。裕福な武士の家の生まれだが父が切腹して亡くなり、今は芸者として生きている。結婚式が慎ましやかに行われている最中、叔父の僧侶ボンズがきて、キリスト教に改宗した蝶々さんに絶縁を言い渡す。式は終わり、2人は甘い夜を迎える。



【第2幕】ピンカートンがアメリカに帰国して3年。蝶々さんは「駒鳥が巣を作る頃に帰る」との言葉を信じ、彼の帰りを待ち続けている。シャープレスとゴローは再婚を勧めるが、蝶々さんは断る。ピンカートンとの間に子供が生まれていたのだ。ピンカートンがアメリカで本当の結婚をしたことを知るシャープレスは言葉もない。そしてついにピンカートンの船が入港。蝶々さんとスズキは部屋を花で満たして一晩中夫の到着を待つが、彼はこない。蝶々さんが奥の部屋で休んでいると、ピンカートン、シャープレス、そしてピンカートンの妻ケートが訪れる。スズキの対応で蝶々さんの思いを知ったピンカートンは、堪らず立ち去る。目覚めた蝶々さんはケートを見てすべてを悟り、子供をアメリカで育てたいというケートの言葉を受け入れる。父の形見の短刀に刻まれた言葉「名誉をもって生きられないものは名誉をもって死ぬ」ことを決意した蝶々さんは、子供に別れを告げ、自決。「蝶々さん！」と叫ぶピンカートンの声がむなしく響く。



写真：平成29年度高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』より

■プロフィール

【指揮】飯森範親

IIMORI Norichika

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、現在は正指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビュー。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任し、そのエネルギッシュな活動は高い評価を受けている。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。新国立劇場では『鹿鳴館』を指揮。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

【演出】栗山民也

KURIYAMA Tamiya

早稲田大学文学部演劇科卒業。主な演出作品に『GHETTO/ゲットー』『きらめく星座』『海をゆく者』『組曲虐殺』『スリル・ミー』『ピアフ』『荻原検校』『デズノート The Musical』などがある。紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞、毎日芸術賞千田是也賞、朝日舞台芸術賞、芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。13年春、紫綬褒章を受章。新国立劇場では『今宵かぎりは…』『ブッダ』『夜への長い旅路』『欲望という名の電車』『夢の裂け目』『ワーニャおじさん』『櫻の園』『浮標』『夢の泪』『世阿彌』『喪服の似合うエレクトラ』『箱根強羅ホテル』『夢の痕』『CLEANSKINS/きれいな肌』『氷屋来たる』『まほろば』『雨』『マニラ瑞穂記』『あわれ彼女は娼婦』、オペラ『夕鶴』『蝶々夫人』などを演出。著書に「演出家の仕事」。新国立劇場演劇芸術監督を7シーズン務め、05年4月から16年3月まで新国立劇場演劇研修所所長を務める。

【蝶々夫人】小林厚子

KOBAYASHI Atsuko 〈7月6日・9日・11日〉

東京藝術大学大学院オペラ科修了。文化庁在外派遣によりイタリアにて研修。藤原歌劇団にデビュー後、同歌劇団『蝶々夫人』でタイトルロールデビュー。首都オペラ『フランチェスカ・ダ・リミニ』フランチェスカ、『マクベス』マクベス夫人、西本智実プロデュース『蝶々夫人』、フィオーレオペラ『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、藤原歌劇団『ナヴァラの娘』アニタなどに出演している。イタリアのトラエッタ・オペラ・フェスティバルではトラエッタ劇場、クルチ劇場の『蝶々夫人』に出演を重ねる。新国立劇場では鑑賞教室『蝶々夫人』『トスカ』でタイトルロールに出演。また、『アイダ』タイトルロール、『アンドレア・シェニエ』マッダレーナ、『オテロ』デズデモナ、『ドン・カルロ』エリザベッタ、『イエヌーファ』タイトルロールなどドラマティックソプラノの難役にカヴァーを務め、公演の成功に貢献している。藤原歌劇団団員。

【蝶々夫人】木下美穂子

KINOSHITA Mihoko 〈7月8日・10日・12日〉

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。第70回日本音楽コンクール声楽部門1位など受賞多数。これまでに『イル・トロヴァトーレ』レオノーラ、『椿姫』ヴィオレッタ、『仮面舞踏会』アメリア、『ラ・ボエーム』ミミ、『蝶々夫人』タイトルロールなどを国内の他ロンドン、バンクーバー、ミシガン、アリゾナ、ピサなどで演じ絶賛されている。新国立劇場では小劇場オペラ『外套』ジョルジュッタ、高校生のためのオペラ鑑賞教室『椿姫』ヴィオレッタ、『ラ・ボエーム』ミミ、『トスカ』タイトルロール、ニューイヤーパーラパレスガラなどに出演。二期会会員。

【ピンカートン】小原啓楼

OHARA Keiroh 〈7月6日・9日・11日〉

東京藝術大学卒業。同大学院大学院修了。博士号取得。第41回日伊声楽コンクール第3位並びに歌曲賞受賞。これまでに、二期会『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ、『蝶々夫人』ピンカートン、日生劇場『リア』(日本初演)エドモンド等に出演。2016年1月のロームシアター京都オープニング公演『フィデリオ』フロレスタンではその重厚な歌唱が高く評価された。新国立劇場では難役の『沈黙』ロドリゴで絶賛されたほか、『夕鶴』とひょう、『鹿鳴館』久雄、『オテロ』カッシオ、『パルジファル』小姓、『椿姫』ガストン子爵、『ルチア』アルトゥーロなどに出演。二期会会員。

【ピンカートン】樋口達哉

HIGUCHI Tatsuya 〈7月8日・10日・12日〉

武蔵野音楽大学卒業。同大学大学院修了。1996年渡伊、翌年サンレモ国際声楽コンクール特別賞受賞。1998年E.カルーソー国際声楽コンクール最高位受賞。同年ハンガリー国立歌劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォでヨーロッパ・デビュー。新国立劇場では『ファルスタッフ』フェントン、『黒船一夜明け』領事、『フィデリオ』ヤッキーノ、『ナブッコ』イズマエーレ、鑑賞教室『トスカ』カヴァラドッシ、『蝶々夫人』ピンカートン、『カヴァレリア・ルスティカーナ』トゥリッドウなどに出演。二期会会員

■公演概要

タイトル	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2019 「蝶々夫人」 全2幕<イタリア語上演/字幕付>
スタッフ	指揮：飯森 範親 演出：栗山 民也 美術：島 次郎 衣裳：前田 文子 照明：勝柴 次朗
キャスト	(7月6・9・11日) (8・10・12日) <蝶々夫人> 小林 厚子 木下美穂子 <ピンカートン> 小原 啓楼 樋口 達哉 <シャープレス> 青山 貴 成田 博之 <スズキ> 山下 牧子 小林 由佳 <ゴロー> 内山 信吾 晴 雅彦 <ボンゾ> 島村 武男 峰 茂樹 <ヤマドリ> 星野 淳 吉川 健一
合唱	新国立劇場合唱団
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
主催	新国立劇場
助成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛	ローム株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
日程	2019年7月6日(土)13:00、8日(月)13:00、9日(火)13:00、 10日(水)13:00、11日(木)13:00、12日(金)13:00 *開場は開演の45分前です。
会場	新国立劇場オペラパレス
料金(税込)	前売:高校生 2,160円(要学生証) 2019年6月16日(日)前売開始 *残席がある場合に限り、一般の方も当日券として1人1枚購入可 高校生以下 2,160円、一般(大人)4,320円
お問い合わせ	新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、常松美登里子様からのご寄附を活用して行う公演事業です。